

事例 10

雪道教室

背景

子供たちが、自分の住んでいる地域が日本有数の豪雪地帯であることの認識を新たに、雪と公共事業との関わりについて、「自分たちの目」で現況を確認・理解することにより、公共事業の果たす役割を知り、その意味や重要性を客観的に学習するため、実施しました。

内容

点検マップをもとに、地区内の雪道点検を行い、点検して問題と思った場所をマップに書き込みながら「ヒヤリ地図」を作成しました。また、除雪作業の紹介と説明を行った後、子供たちの疑問や質問に対して分かりやすく回答しながら理解を深めました。



説明を聞きながら雪道点検を行う



周りをしっかりと確認



除雪作業の紹介



除雪作業に関する質問会

ポイント

- 子供の視点で、通学路である杉沢地区の冬期歩行者空間のパトロール点検を行い、自分たちのまとめ方で「ヒヤリ地図」を作成する等、“自らがまとめる力”を高めました。
- 自分の住む地区をもっと住みやすくするために、「自分がで

- きること」や「どうしたら良いか」を考え、まとめました。
- 公共事業の果たす役割について、雪という身近なテーマをもとに自分たちの暮らしとの関わり等から理解を深めました。

DATA

場 所：秋田県湯沢市杉沢地内
 実 施 者：湯沢工事事務所 地域づくり推進室 [TEL(0183)73-3174]
 参 加 者：湯沢市立湯沢東小学校 28名
 実 施 日：平成11年2月13日、平成11年12月3日
 学 習 時 間：2～4時間

関係する分野

- 環境
- 交通
- 社会
- 地域
- 歴史
- 福祉
- 健康

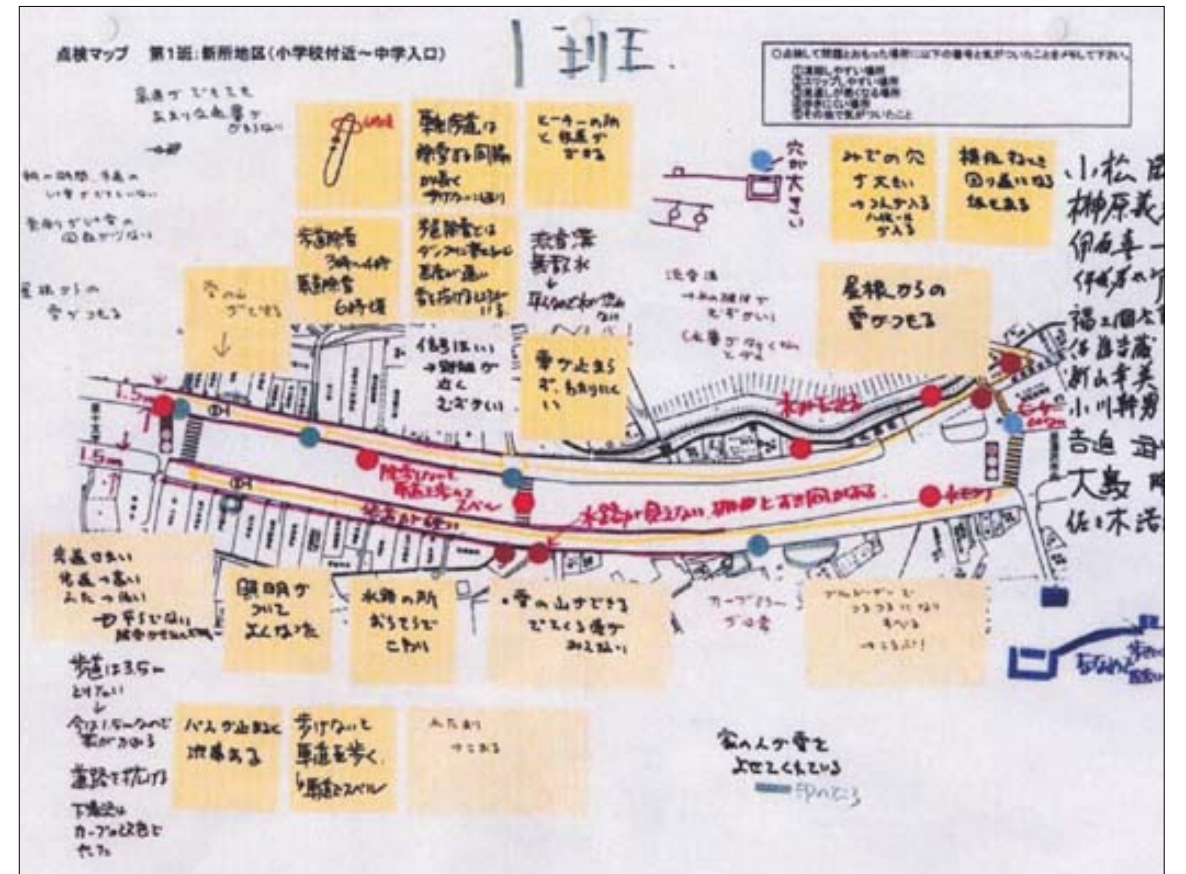
成果

この学習を通して、みんなが安全に通れるために、自分たちは何ができるのか考える機会となりました。

参加者の声

「これからは除雪で親を手伝う!」

「道路に家の雪を出さない!」



新所地区における点検マップ「ヒヤリ地図」

次のステップに向けて

- 管理の仕事で、特に地域の生活を守るため、昼夜を問わず除雪作業を実施している人々の努力と想いを学ぶなど、生きた社会学習にもなります。
- 雪道を安全に通行するためにも、「雪」についての学習を深めていくことも考えられます。
- 雪と生活とのかかわりを、雪の問題や利活用なども含め、学習することも考えられます。